










「インフルエンザ出席停止期間の基準」早見表

学校保健安全法施行規則の改正により、インフルエンザの出席停止期間の基準が「解熱後2日を経過するまで」から「**発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで**」と変わりました。**発症した日から数えると、6日間の出席停止が必要ということになります。**その後は、解熱した日によって出席停止日が延期されていきます。

この措置は、抗ウイルス薬の服用によって熱が早く下がるようになり、以前の期間のままでは感染力が残った状態で登校するケースが増えていくことから見直しがされ、出席停止期間の基準が変更されました。

	発症日 (0日目)	発症後 (1日目)	発症後 (2日目)	発症後 (3日目)	発症後 (4日目)	発症後 (5日目)	発症した後5日 を経過した後		
発症後1日目に解熱した場合 	発症 出席停止	解熱 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	発症後4日目 出席停止	発症後5日目 出席停止	 登校可能		
発症後2日目に解熱した場合 	発症 出席停止	発熱 出席停止	解熱 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	発症後5日目 出席停止	 登校可能		
発症後3日目に解熱した場合 	発症 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	解熱 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	 登校可能		
発症後4日目に解熱した場合 	発症 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	解熱 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	登校可能	
発症後5日目に解熱した場合 	発症 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	解熱 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	 登校可能

★インフルエンザは38℃以上の熱が出てから5〜6時間が経たないと、病院で検査をしても反応が出ません。発熱ししばらくしてから受診されるとよいです。
★インフルエンザは、一旦熱が下がっても、再び発熱する場合があります。(二峰性発熱と言います) 出席停止期間に従い、感染力が弱くなるまで登校を控えることで、インフルエンザの蔓延を防ぐことを心がけてください。

★1日のうちで、発熱・解熱をともに認めた場合は、発熱期間となります。